朝鮮社会科学者協会

通　報



1

2023

朝鮮社会科学者協会
通　報
累計番号　19

目　次

人民政権プラス３大革命

全社会の金日成主義化の革命的旗を高く掲げて社会主義の完全な勝利を早めるための闘争が力強くくり広げられていた時期におこなわれたある会議の時のことである。

共和国政府の前に提起される重要な課題について述べながら金日成主席は、人民政権に３大革命をプラスすれば人民大衆の自主性が完全に実現された社会を建設することができるという有名な命題を打ち出した。

それから数年経った後、東欧諸国における社会主義の挫折と崩壊という悲劇を通じて歴史は主席のこの有名な命題こそ、人民大衆の自主性を実現するためのもっとも正当で科学的な革命路線であるということを鉄の真理として刻み付けた。

普通なら百回以上もへたり込んだであろう厳しい苦難と試練の中でも社会主義の旗を高く掲げて強国建設を力強く進めている朝鮮の誇らしい現実がそれを証明した。

実に、社会主義建設の実践の中で積み上げた豊かな経験を一般化して人民政権プラス思想、技術、文化の３大革命で定式化された社会主義建設の総路線を提示したのはひとえに金日成主席でなければ成し遂げられない人類史的功績である。

領袖が偉大であれば、小さな国も思想の強国、政治の大国となる

チュチェ77（1988）年7月のある日のことである。

ある幹部と席をともにし、話を交わしていた金正日総書記は国が大きいからといって偉大な思想が生まれるのではない、たとえ国は小さくても領袖と指導者が偉大であれば、その国の指導思想も偉大である、これは真理であり、法則である、と述べた。

総書記は偉大な思想は世界を武器なしに支配するという言葉がある、偉大な金日成主席とわが党の偉大なチュチェ思想こそは、世界を照らすたいまつであり、地球を動かすテコであり、歴史を前進させる機関車である、と述べた。

続けて、総書記は確信に満ちた声で、領袖が偉大であれば、小さな国も思想の強国、政治の大国となる、こうした意味でわが国は思想の強国であり、政治の大国であるといえる、と強調した。

社会主義は科学であり、その勝利も科学である

「トゥ・ドゥ（打倒帝国主義同盟）」の結成 90 周年を控えたチュチェ 105（2016）年 10 月のある日であった。

敬愛する金正恩総書記は幹部たちに人類の理想である社会主義、共産主義を建設することを闘争綱領に掲げた「トゥ・ドゥ」の結成は人民大衆の自主偉業、社会主義偉業の遂行において新しい出発を告げる歴史的宣言であったと、意味深く述べた。

総書記は社会主義偉業の遂行において新たな転換的局面を開いている今日、幹部と党員と勤労者に朝鮮式社会主義の科学性とその勝利の必然性について深く認識させることがきわめて重要であると述べた。

同日、金正恩総書記は偉大な思想があり、偉大な党があり、偉大な人民がある限り、人民大衆中心の朝鮮式社会主義は必勝不敗である、朝鮮式社会主義は科学であり、朝鮮式社会主義の勝利も科学である、と強調した。

朝鮮労働党中央委員会第８期第８回総会が行われる

朝鮮労働党の指導の下に社会主義の新たな変革と発展をめざした全人民的闘争が深化する中、党中央委員会第8期第8回総会がチュチェ112(2023)年6月16日から18日まで行われた。

総会は党中央委員会第8期第6回、第7回総会が示した前進目標と戦略・戦術的原則に従って国家の利益と安全環境をしっかり守り、朝鮮式社会主義の全面的発展の局面を新しく上昇させるための今年の重要政策実行状況を中間総括し、下半期の進軍道程で必ず対策を立て、より拍車を掛けるべき重大な政策的問題を討議、決定した。

党中央委員会第8期第8回総会はチュチェ112(2023)年の重要政策実行のための闘争をより果敢に繰り広げるための闘争方向と課題を明示して朝鮮人民の必勝の信念を百倍し、果敢な進軍の勢いを昇華させたことに総会の大きな意義がある。

全ての朝鮮人民は今、総会の決定を徹底的に貫徹して2023年の闘争目標を必ず完遂するための闘いに一人こぞって奮い立った。

朝鮮労働党中央委員会第 8 期第 6 回総会で示された主要思想の解説

チュチェ 112（2023）年はどういう年であるのか

朝鮮労働党中央委員会第 8 期第 6 回総会ではチュチェ 112（2023）年を朝鮮民主主義人民共和国の発展行路に大きく刻み込まれる偉大な転換の年、変革の年になる年であるということについて示した。

チュチェ 112（2023）年は歴史的な朝鮮労働党第 8 回大会が示した 5 ヵ年計画の実現で要の意義をもつ３度目の年である。

チュチェ 111（2022）年に朝鮮人民は 5 ヵ年計画の遂行の重大かつ責任的な闘争ではっきりした成果を収めた。チュチェ 111（2022）年の成果と経験を積極的に奨励し、増幅させてチュチェ 112（2023）年に決定的な前進を遂げてこそ、最終目標の達成へとより確信をもって進むことができる。

チュチェ 112（2023）年は祖国解放戦争勝利 70 周年と朝鮮民主主義人民共和国創建 75 周年を記念することになる意義深い年である。人民あげての果敢な闘争によって、チュチェ 112（2023）年に 5 ヵ年計画完遂の決定的保証を構築し、国家発展の新たな活路を開いていくここに、共和国の隆盛・繁栄と社会主義強国建設に積み上げた金日成主席と金正日総書記の不滅の革命業績、愛国業績を子孫万代に末永く輝かせていく道がある。

チュチェ 112（2023）年に全人民が忠誠と愛国で一貫された最大の奮発力と献身性、必勝の自信をもって、国の全般的発展とはっきりした成果を多発的かつ連発的に収めてこそ、社会主義の発展速度を一段と高めることができ、国家の全面的発展、全面的復興を実現することができる。

チュチェ 112（2023）年の活動の総体的方向

チュチェ 112（2023）年の活動の総体的方向は社会主義建設で新たな局面を開くための朝鮮人民の闘争をさらに拡大、発展させて 5 ヵ年計画完遂の決定的保証を構築することである。

チュチェ 111（2022）年に朝鮮労働党は 5 ヵ年計画遂行の確固たる保証を構築し、国家発展と人民の生活で明確な改変をもたらすことを基本闘争課題として示し、朝鮮人民は朝鮮労働党の周りに一致団結して頑強にたたかい、すばらしい発展を遂げた。

チュチェ 112（2023）年は朝鮮労働党第 8 回大会が示した 5 ヵ年計画の実現において重要な意義をもつ年である。チュチェ 112（2023）年に示された課題が徹底的に遂行されてこそ、5 ヵ年計画遂行の決定的保証を構築し、全面的繁栄、全面的発展へ向かう朝鮮式社会主義の前進速度をさらに倍加していくことができる。

朝鮮労働党中央委員会第 8 期第 6 回総会は国家経済発展 5 ヵ年計画の完遂のためのより高い目標と膨大な課題が提起されているチュチェ 112（2023）年を国家経済発展の大きな歩みを踏み出す年、生産の成長と整備・補強戦略の遂行、人民の生活改善で要の目標を達成する年に規定し、全般的部門と単位の生産を活性化しながら、第８回党大会で決定した整備・補強計画を基本的に遂行することを経済活動の中心課題として提示した。

チュチェ 111（2022）年の闘いを通じて蓄積された経験と教訓、実際の前進に基づいて最も正確で効果的な方略を立てて国家発展の活路を開き、社会主義の壮大な変革と発展を力強く遂げていこうというのが朝鮮労働党の意志である。

朝鮮人民の前には依然として避けることも、遠回りすることもできない障害と難関が立ちはだかっており、これはもっぱら自らの力と知恵、自らの奮闘によってのみ打開し、克服することができる。すべての朝鮮人民

がチュチェ 111（2022）年の闘争を通じて盛り上がった気概をさらに高揚させて今年の目標の達成と新しく提起された展望課題の遂行に邁進するとき、社会主義建設を朝鮮の志と意志、時間表通りに幅広く進めていくことができる。

チュチェ 112（2023）年の経済活動の中心課題

チュチェ 112（2023）年の経済活動の中心課題は、全般的部門と単位の生産を活性化し、朝鮮労働党第 8 回大会が決定した整備・補強計画を基本的に遂行することである。

人民経済の全般的部門と単位で生産を活性化するためには、現存の生産土台と潜在力を最大限合理的に、効果的に利用して生産計画を月別、四半期別に確実に遂行し、生産物の質を高めることが重要である。これとともに原料と燃料、資材と設備を適時に保障するための対策も講じ、全般的生産工程を正常的に補修、整備し、生産を高い水準で正常化するための技術改造活動を着実におこなうだけでなく、人材と科学技術をとらえ、生産成長の突破口を開き、先進科学技術を積極的に取り入れて飛躍と革新を創造していかなければならない。

整備・補強計画の遂行に拍車を掛けることは国家経済の持続的で安定的な発展の物質的・技術的土台を打ち固めるための重要な要求である。

条件と環境が不利であるからといって、当面の生産計画の遂行にのみ汲々とし、生産土台の整備・補強活動を責任をもって推し進めなければ、自分の単位はもとより、国の展望的な経済発展に大きな支障を与えるようになる。自己単位の生産工程と設備が元来の性能を維持するように日常的に整備・補修し、それをより近代的に改造することは、単なる経済実務的な事業であるのではなく、党の決定を立派に貫徹し、朝鮮労働党第 8 回大会の権威を保障するための重要な政治的事業である。

整備、補強計画を遂行する事業は科学的な基礎の上で科学技術の力でおこなうべき事業である。条件が困難であり、当面の生産が緊張であるほど、価値ある科学技術成果の導入により大きな力を入れてこそ、整備、補強事業で著しい進展を遂げることができる。

国家活動の第1順位

朝鮮労働党中央委員会第8期第6回総会ではチュチェ112（2023）年にも非常防疫活動を国家活動の第1順位にし、ここに万全を期すことについて再度強調した。

いかなる重大事よりも人民の生命と健康をかけがえのないもっとも大事で絶対的なものとして見なし、必ず守ろうというのが朝鮮労働党の揺るぎない意志である。

国の非常防疫活動をおろそかにすれば想像もつかない大災難をきたしうる。

これは誰もが非常防疫活動におけるいささかの空間や盲点も許すことなく最大に奮起することを求めている。

ゆえに、朝鮮労働党は非常防疫活動を昨日も今日も国家活動の第1順位にし、これに万全を期することを重ねて強調しているのである。

国土管理部門の課題

朝鮮労働党中央委員会第 8 期第 6 回総会はチュチェ 112（2023）年の国土管理部門に提起された課題を示した。

治水戦略を正しく立てて粘り強く推し進め、当面して雨季に大同江の水位を調節するための事業を立派におこなわなければならない。

災害性異常気象現象が毎年、ひどくなっている状況で水を安定的に調節できるようにし、大同江と普通江の水質を改善するための決定的な対策を講じて首都の市民により清潔な生態環境、より良い生活環境を提供しなければならない。

山林復旧事業を科学的に、将来を見通しておこなうことが重要である。

山林復旧事業を党政策上の要求に合わせて科学的、技術的におこなうためには、山林を造成する時、山崩れが生じないようにするためにはどうすべきかを十分に考慮しておこない、混成林も樹木の共生関係と当該地域の気象気候条件、土壌状態、山林の造成目的などを具体的に検討しながら合理的な方法で将来を見通して造成すべきである。

道路の建設方法を改変しなければならない。



道路は国の顔であり、文化発展の水準を示す重要な尺度の一つである。道路の建設と管理を立派におこなってこそ、国の経済を発展させ、人民の生活上の便宜を図ることができる。

都市運営に力を入れるべきである。すべての道、市、郡で住宅と公共建物の補修計画を具体的に立てて日常的におこない、科学的な園林設計に従って観賞的価値があり、陰の造成にも良い樹木をたくさん植えて手入れをし、都市ごとに特色ある景観を造成すべきである。

都市経営部門に樹木の手入れに必要な器具・工具を保障し、自動掃除車と芝刈り機も立派につくって都市管理を機械化すべきである。

人民の生活において実際の変化をもたらすことは朝鮮労働党がもっとも重視する政策的課題

朝鮮労働党が最も重視し、手間を掛けて推し進めている政策的課題は人民の生活で実際の変化をもたらすことである。

朝鮮労働党中央委員会第 8 期第 6 回総会は人民の生活で実際の変化をもたらすための課題と方途を具体的に明示した。

朝鮮労働党が最も重視する政策的課題はまず、人民の食の問題、食糧問題を解決することである。

人々の食・衣・住の問題では、一つも空白があってはならないが、その中でも食の問題が第一義的である。

全国が力量を集中して農業を立派に営むべきである。安定した多収穫を得るための先進的な営農方法を広く取り入れ、地力を決定的に改善し、全党、全国、全民が農業部門を誠心誠意支援しなければならない。

野菜と果樹、畜産部門を盛りたて、ともに水産部門の現代化を進め、水産物の生産を決定的に増やし、海洋養魚と養殖を活発におこない、水産部門の物質的・技術的土台を強化することも重要な問題として提起される。

朝鮮労働党が最も重視する政策的課題はまた、人民の生活向上のため

の一般消費財の生産を増やし、商業サービス事業を改善することである。

軽工業部門と地方工業部門で一般消費財の質を高めるための闘争を力強くくり広げて生産工程の近代化を促し、商業便益サービス部門では朝鮮労働党と国家の施策が一つでももっと確実に人々に行き届くよう、現実的かつ合理的な活動体系とサービス方法を模索すべきである。

朝鮮労働党が最も重視する政策的課題はまた、育児政策を条件の有利さや不利さに関わりなく一貫して執行することである。

そのためには子供たちに乳製品と栄養食品を適時確実に供給するための対策を講じ、栄養管理を科学的におこなうべきである。

育児政策は一貫して執行すべき活動

朝鮮労働党の育児政策はチュチェ 112（2023）年にも取り落とすことなく一貫して執行すべきである。

チュチェ 111（2022）年に朝鮮労働党は例年にない難関が重なる中でも未来の主人公である子供たちを立派に育て、彼らに幸福な生活を保障してあげることを最重要な政策として堅持し、頑強に推し進めた。

朝鮮労働党の育児政策の執行は、幼児の成長発育を促して丈夫に育てるための極めて重要な活動である。これはやっても、やらなくてもいい活動ではなく、いかなることがあっても無条件執行すべき活動、祖国の未来をはぐくむ重大な活動である。



そのためにはヤギと乳牛の数を増やし、粉ミルクの生産工程と設備を近代化し、乳加工技術を発展させて乳製品を多く生産しなければならない。これとともに乳製品の生産部門と供給部門に輸転機械、冷凍及び貯蔵施設、運搬容器など、必要な条件を十分にそなえてやって衛生安全性が保障された新鮮な乳製品がすべての幼児に漏れなく行き届くようにすべきである。

育児政策の執行と関連して必ず重視すべき問題は、幼児にたいする栄養管理を科学的におこなうことである。託児所、幼稚園に食糧はもとより、魚と昆布の粉、卵と果物をはじめ、栄養食品を基準通りに供給し、栄養管理を科学的におこなわなければならない。科学研究部門では、子供たちを年齢によって栄養学的にどのように育てるのが科学的なのか、標準になるのかという学術的な基礎と指導書を作成し、社会的に幼児の栄養管理をはじめ、養育に必要な知識を伝授し、普及する活動も積極的におこなうべきである。

一般消費財生産の基本

一般消費財の生産は人民の生活を安定、向上させる上で重要な役割をしている。

一般消費財の品質を高めることは現時、人民の生活を向上させ、社会主義強国建設を促すための重要な要求である。当面の生産の量的成長にのみ傾注しながら消費財の品質を軽視することは天下一の強国を建設する今日の現実に立ち遅れた近視眼的な態度であるだけでなく、チュチェの人民観が確立していない表現である。質が悪くて人民が喜ばない製品はむしろつくらなかったのがましであり、それらのものはいくら多くても無用である。

人民が利用するすべてのものはいずれも完全無欠の最上のものでなければならないというのが朝鮮労働党の崇高な志である。生産量も重要であるが、一つをつくっても人民が喜ぶ良質のものをつくって供給してこそ、

実際に人民の生活に寄与し、人々の間で自分のものにたいする愛着と誇りが生まれ、ひいては愛国心がさらに強固になり、強烈になる。

一般消費財の質を高めるためには軽工業工場で生産工程を近代的に改造する活動を力強く推し進めるとともに軽工業部門の科学者、技術者、労働者の視野を広めて技術・技能水準を絶えず向上させ、先進技術を積極的に取り入れて科学的な品質管理システムを確立する活動に力を入れ、集団内に品質向上の気風がみなぎるようにすべきである。

一般消費財の品質向上は決定的に活動家にかかっている。活動家の要求性はつまり一般消費財の質である。活動家が高い眼識と実力をもって課された仕事を科学的に、策略的に展開すれば、それだけ一般消費財の質が高まるようになる。

活動家は自分の工場、自分の単位を代表できる名製品、名商品を多く作りだすことにより、人民生活の向上に大きく寄与しなければならない。



朝鮮労働党中央委員会第８期第７回総会で示された主要思想の解説

朝鮮労働党中央委員会第８期第７回総会の基本目的

朝鮮労働党中央委員会第 8 期第 7 回総会の基本目的は全党、全国、全民が総動員して、チュチェ 112（2023）年の穀物生産目標を成功裏に占領し、ここ数年内に国の農業を凶作を知らず、安全に発展させることのできる着実な土台を築くことである。

農業を立派に営むことは朝鮮人民に提起されるもっとも差し迫った課題

今日、朝鮮人民に提起される差し迫った課題は農業を立派に営んで食糧問題を解決することである。

それは単なる経済実務的問題である前に、人民に一日も早くこの世に羨むことのない幸せな生活を与えようとする朝鮮労働党の崇高な志を奉じるための重要な政治的事業である。

米はすなわち社会主義である。米をたくさん生産してこそ、どこでも人民の笑い声が溢れるようにし、社会主義建設の全面的発展を確信をもって促していくことができる。

それがゆえに、朝鮮労働党中央委員会第８期第７回総会ではチュチェ 112(2023 年)の穀物生産目標の達成へと全人民がこぞって立ち上がることを呼びかけたのである。

朝鮮労働党の農業発展観

朝鮮労働党の農業発展観は一言で言って、全国のすべての地域、すべての農場を同時的に、均衡的に発展させることである。言い換えれば、ある一つ、二つの地域や農場、いくつかの田畑における多収穫ではなく、すべての農業生産単位でヘクタール当り穀物の収量を高めて国の農業全般をともに発展させることである。

農業部門では平野地帯や山間地帯を問わず、全国のすべての耕地で穀物の収量を高めてこそ、朝鮮の農業を凶作を知らない安定的で持続的な発展軌道に乗せ、社会主義建設の全面的発展を力強く促すことができる。

朝鮮労働党の農業発展観には全人民に裕福で文化的な生活を一日も早くもたらそうとする崇高な意図が込められている。

人民が住んでいるところはそれぞれ異なっても、生活水準では地域的差が絶対にあってはならないというのが朝鮮労働党の意図である。一つの地域、一つの農場、一つの田畑も立ち遅れたり、足踏みすることなく、ともに奮い立ち、ともに前進して国の農業の発展を上昇段階に確固と引き上げるとき、この地ではどこでも人民の笑い声がより高く響き渡るようになる。

朝鮮労働党の農業発展観には主体的力を一段と強化して国家発展の新たな高揚の局面を開いていこうとする確固たる意志が盛り込まれている。

農業の発展は特定の地域や一つ、二つの単位の多収穫成果だけでは遂げられない膨大な課題である。特に、耕地面積が制限されている朝鮮で農業生産での波動を克服せずには、地域と単位間の差を縮めることなしにはいつになっても農業の持続可能な発展を期待することができず、ひいては国家繁栄の活路も開いていくことができない。立ち遅れた単位を決定的に盛り立てて地域間の差を縮め、バランスを保障することにより、農業全般を同時に発展させるとき、主体的力はさらに倍加され、自立、自存で繁栄する社会主義強国の実体はさらに鮮明になる。

チュチェ 112（2023）年の農業生産で堅持すべき綱領的指針

朝鮮労働党中央委員会第 8 期第 7 回総会ではチュチェ 112（2023）年の穀物生産目標を達成するための方向と方途が明示された。

全党、全国、全民が総動員して農業部門を力強く支援すべきだという思想、表作と当面の営農に力を入れるべきだという思想、農業生産に現代性と先進性を付与する上で最も切実で効果的な新しくて能率の高い農業機械をより多く作って農村に送るべきだという思想、灌漑システムを完備し、干拓地開墾と新しい土地開墾で耕地面積を増やすべきだという思想、農業を指導するうえで決定的な改善をもたらすべきだという思想をはじめ、党中央委員会第 8 期第 7 回総会で示された思想・理論はチュチェ 112（2023）年の農業生産で堅持すべき綱領的な指針となる。



チュチェ 112（2023）年の穀物生産目標の達成は経済全般を活性化する保証

朝鮮労働党中央委員会第 8 期第 7 回総会ではチュチェ 112（2023）年の穀物生産目標の達成へと全人民がこぞって立ち上がることを呼びかけた。

農業は人民経済の 2 大部門の一つである。経済建設で必要な多くの役割を農業が担っている。現実的に軽工業部門の工場、企業所で生産される油、醤油、味噌などの基礎食品とあめ・菓子類製品、さまざまな加工品の原料、資材がどのように保障されるかは農業生産力にかかっている。農業生産力が成長してこそ工業の飛躍的発展も可能となる。

これはチュチェ 112（2023）年の穀物生産目標を必ず達成することが経済全般を活性化の軌道に乗せるための必須の保証をもたらす重要な事業となることを示している。

チュチェ 112（2023）年の穀物生産目標の達成は朝鮮の自存と尊厳を守るための死活の問題

今、敵対勢力は制裁を「万能」と見なして圧殺の鎖をさらに引き締め、朝鮮が窒息されることだけを待っている。現時、日増しに持続される災害性異常気象によって世界的に穀物の生産量は著しく減少されており、朝鮮を援助するという国はない。こういう状況で農業を立派に営まなければ、他国に哀願しなければならないし、それは結局、国家の尊厳を毀損させることと同じである。

今日、朝鮮は朝鮮労働党の指導の下に強大無比の軍事力を備蓄し、その尊厳と地位を最高の水準で轟かせている。世界的な政治思想強国、軍事

強国の地位に堂々と上がった朝鮮がこれから農業生産を盛り立てて国の穀倉がいっぱいになれば何も恐れることはなく、革命と建設をより力強く推し進めることができる。

これはチュチェ 112（2023）年の穀物生産目標を必ず達成することが朝鮮の自存と尊厳を守るための死活の問題となるということを示している。

灌漑システムの完備は農業の安定的発展を保証する第一義的な課題

朝鮮労働党中央委員会第 8 期第 7 回総会では全般的な灌漑システムの完備を急ぐのを現時期、農業の安定的発展を保証する上で優先的に解決すべき課題とした。

最近、農業生産に悪影響を与える災害性異常気象現象が毎年、持続的に現れている事実は、灌漑システムを整備、補強し完成する活動をよりスケールが大きくて積極的に推し進めなければならないということを示している。

不利な気象気候条件が農業に及ぼす影響を最大に縮め、農業生産での波動を克服するためには必ず水の問題を解決すべきである。







毎年、凶作を知らず、安全に農業を営むためにも、ヘクタール当たり収量を高めるためにも決定的に現存の灌漑施設を整備・補強し灌漑面積をさらに増やすべきである。

灌漑システムが完成されれば、それだけ水稲をはじめとした穀物のヘクタール当たり収量を高めることができる。これは農業生産の成果如何がほかならぬ灌漑システムにかかっているということを示している。

朝鮮人民はチュチェ 112（2023）年に計画された灌漑工事を強力に推し進め、5ヵ年計画の遂行期間に国の灌漑システムを完備するための闘争を力強く繰り広げなければならない。

朝鮮労働党中央委員会第８期第６回、第７回総会の決定貫徹に奮い立った朝鮮人民

人民経済の各部門の力強い進軍の勢い

朝鮮労働党中央委員会第８期第６回総会が示した課題を体し、人民経済の各部門と単位で12の重要課題を無条件に達成するという熱意をもって果敢な連続攻撃戦を繰り広げながら勢いよく前進している。

金属、化学工業部門の活動家と労働者階級は自立経済の二本柱を固く守っていくという信念の誓いを抱いて集団的革新の炎を強く燃え上がらせている。

金策製鉄連合企業所の労働者階級は自らの技術力量を充実に固めて、設備の中小補修を質的におこなうとともに酸素熱法溶鉱炉の運営技術をさらに向上させて原料の投入から溶解までの全過程で溶銑の生産量を増やすために頑張っている。黄海製鉄連合企業所、チョンリマ（千里馬）製鋼連合企業所の労働者階級も鉄鋼材の増産で党を支えるという熱烈な決意をもって、不利な客観的条件を主動的に打開しながら鉄鋼材の増産に奮闘している。

興南肥料連合企業所の活動家と労働者階級は標準操作法と技術規定の要求を厳格に守り、予防補修を徹底的におこなって設備の稼働率を高めている。

電力工業部門では昨年の成果と経験を奨励し、増幅させて電力生産を正常化している。

北倉火力発電連合企業所の電力生産者は設備の稼働率とボイラー及びタービン発電機の効率を高めており、平壌火力発電所をはじめとした各火力発電所でも季節の変化に合わせて生産の手配を綿密におこない、合理的な技術革新案を探求、導入して電力の生産を増やしている。

自立経済発展の前哨基地を守っている石炭工業部門の活動家と炭坑夫も石炭の生産に拍車をかけている。

順川、北倉地区青年炭鉱連合企業所をはじめとした各地の連合企業所では、前進を阻む難関が少なくないが、それぞれの岩石条件に伴う先進的な発破方法を積極的に取り入れ、不足している部品、資材を自らの力と技術で解決しながら掘進速度を高めている。

林業部門でも人民経済の各部門と単位、主要建設現場に送る原木の生産を強力に推し進めている。

鉄道運輸部門の活動家と労働者階級は、苛烈な戦火の中で戦時輸送を保障した前世代の闘争精神、闘争気風を高く発揮し、今年の鉄道貨物輸送計画遂行に邁進している。

特に平壌鉄道局では唯一司令指揮システムを厳格に確立し、貨車停車時間を短縮し、機関車と貨車のかみ合わせを綿密にするなど、現存の輸送能力を最大限に、効果的に利用しながら、二本の軌道の上に輸送増産の汽笛の音を高く鳴り響かせている。

新たな平壌繁栄期に創造された今一つの建設奇跡

偉大な朝鮮労働党の人民大衆第一主義の理念と自立、自力の思想を体して歴史の逆風に立ち向かって朝鮮式社会主義の全面的繁栄をもたらしていくチュチェ朝鮮の変革的な発展相を全世界に轟かせながら、首都平壌に人民の理想通りがもう一つ建てられた。



人民が望むすべてのものを政策に、宿願事業に押したて、平壌市５万世帯の住宅建設を毎年力強く展開していく党中央の賢明な指導によって、朝鮮の建設

者はわずか1年という短期間に和盛地区に建設する最初の段階の住宅建設を成功裏に終えた。

和盛地区にもたらされた大きな転換は人民とした約束、人民の福祉増進のための事業はいかなる代価を払っても必ず結実を見なければならないという、偉大な朝鮮労働党の崇高な人民観と社会主義国家の底知れない底力、党中央の構想と決心を常に絶対的に支持し、忠誠と愛国で支える朝鮮人民の堅忍不抜の精神力と創造力がもたらした世紀的な奇跡である。

12の重要目標達成をめざす科学研究活動が積極的に推進される

朝鮮労働党中央委員会第8期第6回総会の決定を体して人民経済発展12の重要目標達成を科学技術で力強く牽引するための科学研究活動が積極的に推進されている。

国家科学院の科学者は溶解時間を短縮して電力の消費を減らし、生産性を高めうるチュチェ鉄連続装入機を設計、製作する上で多くの前進を遂げており、コンプレッサーの機械的状態を適時に測定、予測できる体系の開発を終えて導入準備を促している。

農業科学院の科学者は全国の耕地にたいする筆地別土壌分析を力強く繰り広げる一方、低収穫地で穀物の収量を高めうる土壌改良技術と管理方法を全国に普及するための活動を活発におこなっている。

また、水稲の生育期日をはるかに繰り上げながら収量の高い農業技術製品を研究し、続けて効果性を検証する試験導入をおこなっており、DNA分析による種子検査方法の確立にも倍加の努力を傾注している。

各道農業科学研究所でも地域の科学農業を主導していく旗手らしく、災害性異常気象の影響を克服できる科学的な農業システムと方法を確立す

る上で研究陣容を総集中して科学研究活動を繰り広げている。

電力工業研究所、電力情報研究所をはじめとした電力工業部門の科学研究単位の科学者は、電力設備と構造物、送変電施設を質的に整備、補修し補強できるように科学技術的な対策を講じ、国家統合電力管理システムの運営水準を高め、水力発電所リアルタイム効率測定システムの導入など、多くの研究目標の遂行で革新性、先進性、完璧性を保障するために苦心し奮闘している。

軽工業研究院の科学者は水圧織機の正常稼動を保障する上で要の問題を機動的に解決し、錬組機の補修、整備に必要な機料品の開発で前進を遂げている。

この他にも石炭研究院、鉄道研究院をはじめとした多くの科学研究単位の科学者も今年を国家経済発展の大きな歩みを踏み出す年にする上で科学技術の威力を強化していくという熱意をもって、社会主義建設の主要な部門で革新的な開発創造の気風を発揮している。

農業の科学化、情報化を実現するための研究活動が深化される

朝鮮労働党中央委員会第 8 期第 7 回総会の決定を体し、農業科学院で農業の科学化、情報化を実現するための研究活動が深化されている。

農業科学院の科学者、技術者は新しい品種の育種と先進的な栽培技術を研究、導入することに重点を置いて科学研究活動をおこなっている。

朝鮮の気候条件と自然地理的特性に合わせて生育期日が短くて生産性の高い水稲品種と春の小麦品種、とうもろこし品種、疫病にたいする耐久性が強くて乾物質の含有量と収量の高いジャガイモ品種などにたいする研究を先行させている。

また、穀物対穀物の二毛作でヘクタール当たり収量を高めるための栽培技術と方法、塩度が高くて水が足りない干拓地で収量を高めることのできる技術と方法にたいする研究を深化させている。一方、農業生産と関連した科学研究単位を先端基地化することをはじめ、農業科学技術の土台を高い水準に引き上げる活動も力強く推し進めている。

この他にも携帯電話を利用して田畑で農作物の栄養状態を診断し、雑草と病害虫の発生状態を鑑別して肥料と農薬の種類を選択し、その使用時期と量を迅速かつ正確に規定してくれるリアルタイム・サービスプログラムの開発導入と無人機を利用した農薬と肥料蒔きなど、農業を先進的で近代的に発展させるうえで必要な活動を積極的に推し進めている。

教育活動の革命的な改善のために

教育活動でより革命的な改善をもたらすべきであるという朝鮮労働党中央委員会第 8 期第 6 回総会の思想に従って、教育部門では教育活動の革新的で発展的な方案が積極的に討議、対策されている。

初等および中等教育部門で生徒たちに一般基礎知識を十分に所有させることを基本にし、彼らの天性と素質に合わせた教育もできるようにし、高等教育部門では実践能力を備えた有用な人材、科学技術の発展と経済発展で中核的役割を果たせる特出した人材をより多く養成している。

研究型大学、一流学科の建設を推進し、新たな授業管理制度を確立し、その経験を一般化するための具体的な対策が講じられている。

教育内容の実用化、総合化、現代化を高い水準で完成し、学生たちの認識効果を高めうる形態別授業時間を合理的に定め、教員陣容を立派に整え、彼らの教育者的資質と能力を高めることをはじめとした実務的な問題を真摯な論議で解決している。

第 1 中学校、初級中学校、高級中学校の生徒たちの知的能力と創造的応用能力を総合的に評価できる試験方法を校種別に創造、導入し、教育綱領を科学的に編成するための事業が具体化されている。

教育委員会では道、市、郡で教育条件と環境を実情に即して一新し、大学で近代的な実験実習設備と器具を創案、製作して実践実記教育を立派におこなうための活動など、教育の物質的・技術的土台をさらに完璧に整えるための作戦案が立てられている。

勤労者にたいする治療・予防活動を生産現場で展開される

社会主義人民的保健医療施策をさらに強化して全人民が実質的な恩恵と保護を受けるようにすべきであるという朝鮮労働党中央委員会第 8 期第 6 回総会の課題を体し、平壌市内の各中央病院で現場医療サービス活動を活発に展開している。

保健省と当該単位では首都の勤労者のための治療予防活動をさらに強化していく目標の下に主要工場、企業所にたいする現場医療サービスの手配を綿密におこなった。

平壌産院では有能な医療従事者で治療隊を組んで、党の決定を貫徹するための生産闘争、創造闘争で沸き立つ金正淑平壌紡織工場で医療サービスをおこなっている。

生産現場に診断設備を展開した医療従事者たちは、小さい疾病要素も早期診断し、治療をおこないながら女性勤労者が健康な体で革命課題の遂行に専念できるよう誠意を尽くしている。

柳京眼科総合病院の医療従事者も平壌火力発電所に出向いて勤労者にたいする検診および治療活動を積極的にくり広げる一方、衛生宣伝もしながら彼らが電力生産で連日革新を創造するよう励ましている。

保健省の歯科総合病院の医療従事者も今年を新たな前進と飛躍的成果で輝かすための闘争で沸き立つ各工場に出て積極的な医療サービス活動をおこないながら活動家と労働者階級の増産の熱意を高揚させている。

保健省の皮膚専門病院、柳京歯科病院の医療従事者も人民の生命安全を守っていくという高い自覚をもって、現場医療サービス活動に誠意を込めている。

科学技術の牽引機的役割を高めるための
現実的保証の構築

朝鮮労働党中央委員会第８期第６回総会の思想を体し、人民経済のすべての部門で今年の５ヵ年計画完遂の決定的保証を構築するための重点課題、研究課題を定め、これに力量を集中しながら科学技術行政活動を深化させている。

金属工業部門では省エネ型酸素熱法溶鉱炉の運営を正常化し、合理的な製鋼技術を導入するなど、チュチェ鉄の生産システムを技術的に完成し、生産能力を高めるための活動を積極的に推し進めている。

農業部門では先進営農技術を取り入れてさまざまな生態地域に合う農作物品種の栽培技術を完成することをはじめ、切実な解決を待つ科学的・技術的諸問題を積極的に解決している。

金日成総合大学、金策工業総合大学、国家科学院など、教育科学機関の研究士は世界に挑戦し、世界と競争し、世界に先んじようとする大きな胆力と抱負を抱いて猛烈な頭脳戦、探求戦をくり広げて価値ある基礎科学研究成果を出し、権威ある国際学術雑誌に論文を発表、投稿している。

すべての部門、すべての単位で国家統合人材管理システムを通じて部門別、地域別、単位別に科学技術人材を欠かさず掌握し、彼らが自立経済

の発展で中核的役割を遂行するようにしている。

　国家科学技術委員会では国の科学技術を新たな高い段階に引き上げ、科学研究単位と生産単位間の創造的協力を強化して、経済発展と人民生活の向上で提起される科学的・技術的諸問題を解決するための活動を力強く推し進めている。

社会科学部門の討論会のニュース

英雄的朝鮮人民軍創建 75 周年を迎えて社会科学部門の研究討論会がおこなわれる

英雄的朝鮮人民軍創建 75 周年に際して金日成主席と金正日総書記、金正恩総書記が朝鮮人民軍の創建と強化発展に積み上げた不滅の業績を深く研究し体得するための社会科学部門の研究討論会がチュチェ 112（2023）年 2 月 3 日、人民大学習堂でおこなわれた。

討論会には科学、教育、革命事績部門、党幹部養成機関の教員、研究士、活動家が参加した。

討論会では卓越した思想と指導で革命武力建設の世界史的模範を創造し、世紀を継いで輝かせ、チュチェ革命の新時代とともに軍事力の強化の最盛期を開いた不世出の偉人たちの軍建設指導の業績を深く解説、論証した論文が発表された。

討論会では偉大な金日成主席は廃墟の上で自力建軍の大業を実現した不世出の偉人であるということと、チュチェ 37（1948）年 2 月 8 日、正規的革命武力である朝鮮人民軍が創建されたのは革命武力建設とチュチェ革命偉業の遂行において画期的意義をもつ歴史的な出来事であることについて強調された。



討論者は主席が軍建設と軍事活動で提起されるすべての問題を朝鮮の具体的実情に即して自力で解決することを鉄則にし、軍事政治幹部の問題と軍種、兵種の建設問題、兵器技術者問題、正規軍

の建設に必要な膨大な軍需物資の保障問題も成功裏に解決したことについて資料を挙げて解説した。

討論者は朝鮮人民軍が創建されることにより、強力な民族軍隊をもちたがっていた朝鮮人民の世紀的宿願がとうとう実現されるようになり、共和国は創建当初から自らのしっかりした武力的保証をもって自主的発展の道を歩むことができたといった。彼らは朝鮮人民軍が創建後、国の政治的、経済的威力をしっかり保証し、新しい朝鮮の建設を力強く守っただけでなく、小銃と原爆との対決ともいえる去る祖国解放戦争でアメリカ帝国主義を頭目とする帝国主義連合勢力を打ち破る軍事的奇跡を創造し、革命の各年代に朝鮮労働党の強固な支点になって革命の第一線で祖国と人民、社会主義を守りぬく赫々たる功績を立てたことについて言及した。







討論会では、偉大な金正日総書記が革命武力にたいする指導を始めた歴史的なその日から半世紀余りの長きにわたる日々、天才的な軍事的英知と用兵術で朝鮮人民軍を不敗の戦闘隊伍に強化発展させた鋼鉄の総帥であるということについて強調された。



討論者は、革命軍隊の政治的・思想的優越性を高く発揮させることを軍事力強化の基本方途として押し立てた総書記が党の唯一的軍指揮体系を確立することに基本を置いて人民軍の党政治活動を着実におこなうように導き、人民軍をいかなる侵略者も一撃のもとに打ち破ることができる「一当百」の強軍、現代的に武装した武力に発展させるために心血と労苦を注いだといった。

彼らは総書記が実施した先軍政治によって人民軍をモデルにして革命隊伍の最精鋭化が力強く推進され、帝国主義連合勢力の反共和国孤立圧殺策動から朝鮮式社会主義が固く守られ、強国建設のしっかりした土台が築かれたことについて言及した。

討論会では金正恩総書記の卓越して洗練された指導の下に朝鮮人民軍が今日、自己発展の新しい全盛期を迎えたことについて強調された。

討論者は金正恩総書記が新たなチュチェ 100 年代の初年に全軍金日成・金正日主義化を軍建設の総体的任務として規定し、呉仲洽第７連隊称号獲得運動を軍建設の総路線として提示することにより、人民軍を党中央決死擁護の最精鋭戦闘隊伍に強化発展させうる綱領的指針をもたらしたことについて言及した。

金正恩総書記が思想重視論、思想万能論を百勝の宝剣としてとらえ、軍人大衆の革命思想の培養、精神力の培養に第一の力を入れて人民軍軍人を思想と信念の強者、精神力の最強者に育成したことについて彼らは指摘した。



彼らは金正恩総書記の精力的な指導の下に全軍に名射手、名砲手運動の炎が激しく燃え上がり、前例のない新しい形式の訓練が強くおこなわれて人民軍の実戦能力がさらに向上され、朝鮮式の威力あるチュチェ武器が相次いで開発、生産されて実戦配備されることにより人民軍の打撃能力が一段と強化されたと、資料を挙げて言及した。





討論者は天が賜った名将である金正恩総書記をいただいて朝鮮人民軍は今後も革命的武装力としての自らの本態と強大さを轟かせ、朝鮮式社会主義の飛躍的発展を武装をもって擁護し、頼もしく保証して行くだろうと確言した。

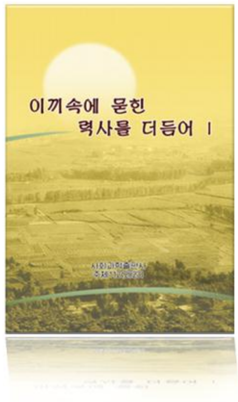


すべての参加者は主体的軍建設偉業の遂行に積み上げた不世出の偉人たちの不滅の革命業績を擁護固守して末永く輝かせ、無敵の軍事力をもった強大国の公民になった自負を抱いて、社会主義建設の新たな高揚の局面を力強くひらいていくという意志をさらに固めた。

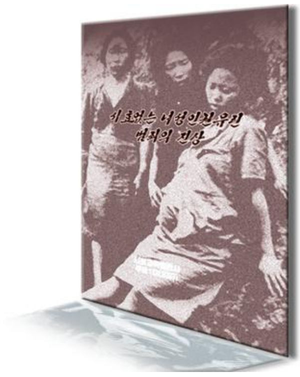
新しく出版された社会科学部門図書の紹介

朝鮮社会科学出版社で2023年の上半期に各種の図書を出版した。

図書「こけの中に埋もれた歴史をたどって」（１）は悠久で燦然たる歴史であったが、外来侵略者に踏みにじられ、事大主義者によって厚いこけの中に永遠に埋もれるところだった古朝鮮を中心にした朝鮮のそれぞれの古代国家と、強大であった高句麗を中心にした百済、新羅、伽倻など、中世初期の封建国家の歴史と文化について叙述した。



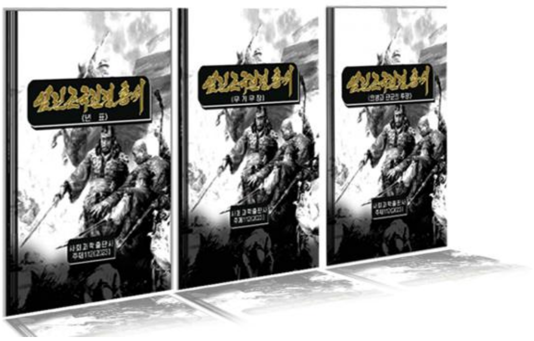
図書「時効のない女性人権蹂躙犯罪の真相」は、かつて出版物と学術討論会などを通じて発表された10余件の代表的な研究論文を通じて、過去日本帝国主義が強行した日本軍性奴隷犯罪の真相を赤裸々に解明することにより、朝鮮人民の反日階級意識を高め、今後の学術研究をさらに深化させるのに役立つ目的で出版された。



図書「民族の魂を守った画家」は日本帝国主義の時期に捨てていた筆を民族の太陽である金日成主席の懐の中で祖国と人民、民族のために再び手にして朝鮮の民族美術の発展に寄与した画家キム・グァンホの一生にたいする話を具体的な事実資料を挙げて叙述した。



「壬辰祖国戦争叢書」全 7 巻中、壬辰祖国戦争時期の軍事制度と軍事戦法、戦争史に名を留めた人物と彼らの闘争内容、当時の歴史を反映した民族古典、日本侵略者が強行した蛮行と結果などが豊富な資料にもとづいて叙述された 4 巻の図書がすでに出版され、続いて義兵と官軍の闘争を中心に壬辰祖国戦争の過酷さと朝鮮人民の勇敢な闘争、当時の武器武装の製造技術を発展させるための朝鮮人民の闘争とその過程に収められた成果を科学的・理論的に、資料的に、歴史主義原則で総合体系化した図書、そして 1591 年 1 月—1598 年 11 月までの歴史的事実を取り扱った年表を含んで 3 巻の図書を出版した。



この他にもアジアの 47 カ国と地域で住んでいる 200 余の民族、種族について叙述し、500 余のアジアの民族、種族の名称にたいする索引を付録に付けた図書「世界民族便覧」(アジア篇)も出版して人民をして民族的誇りと自負とともに透徹した反日意識をもって貴重な歴史的経験と教訓をくみ取り、常識水準の高揚に大きく寄与している。



朝鮮人民軍創建75周年慶祝閲兵式が盛大に行われる

1948-2023













朝鮮人民軍創建75周年慶祝閲兵式が盛大に行われる

75

1948-2023















朝鮮人民軍創建75周年慶祝閲兵式が盛大に行われる

1948-2023










朝鮮人民軍創建75周年慶祝閲兵式が盛大に行われる

1948-2023











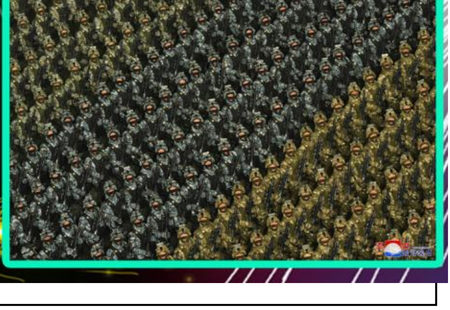
朝鮮人民軍創建75周年慶祝閲兵式が盛大に行われる

1948-2023







朝鮮人民軍創建75周年慶祝閲兵式が盛大に行われる

1948-2023















和盛地区の第1段階1万世帯分の住宅の竣工式が盛大に行われる













懇　談

新たなチュチェ100年代に新しく制定、修正・補足された法を通じて見た朝鮮労働党の人民大衆第一主義政治

朝鮮社会科学者協会の通報は本号に、朝鮮労働党が新たなチュチェ100年代に部門法を新しく制定し、修正・補足して人民大衆第一主義政治を確固と実現していることについて協会の人たちと交わした懇談を掲載する。

リョム・ジョンシル：　こんにちは、今日は、世界の多くの人々が関心を寄せている朝鮮労働党の人民大衆第一主義政治の実状について、新たなチュチェ 100 年代に新しく制定し、修正・補足した朝鮮民主主義人民共和国の部門法に焦点を当てて、話をかわそうと、みなさんと席をともにしました。

当該国の政治がどういうものであるかは、その国の法によって規定されると見ることができると思います。それは法が政治の一つの表現形式であり、実現手段であるからです。



キム・チャンギョン：ごもっともです。法の根底には該当の政党が施す政治が置かれており、法の内容は政治によって規定されるようになります。法の内容とその実行を見れば政党が施す政治の性格についてよく分かります。人民を天のごとく見なして奉じた金日成主席と金正日総書記の崇高な意図どおりに、朝鮮労働党は史上初めて自主、民主、仁徳政治を具現して人民大衆中心の社会主義憲法と部門法を制定し実行するよう賢明に指

導してきました。

リ･ジョンファ：　キム･チャンギョン先生もお話しをしたように、主席と総書記の限りない人民愛と賢明な指導によってわが国では法の制定と実行が人民の自主的で創造的な生活を保障することに徹底的に服従してきました。



リョム・ジョンシル：　新たなチュチェ 100 年代に入って新しい法が制定され、既存の法も修正、補足されましたが、それについて具体的にみることにしましょう。

ユン・ヨンナム：　金正恩総書記は法が人民を守り、人民が法を守る真の人民の国を建設するという新しい思想を示し、共和国の法に人民大衆第一主義を具現するよう賢明に導いています。

総書記の賢明な指導によって人民の利益を最優先、絶対視し、人民の理想社会を建設するための新たな法が採択されました。

キム・チャンギョン：　まず、人民の生活と密着したさまざまな部門法が新しく制定されました。公園、遊園地の管理と湧き水の管理に関する法、都市を美しくて文明的につくることに関する法、大氣汚染と災害防止および救助、復旧に関する法などを実例に挙げることができます。これらすべての法はわが人民に美しくて文化的な生活条件と環境を保障し、人民の生命財産を保護し、国土の面貌を改変させようとするわが党の崇高な志が込められています。

リ・ジョンファ：それだけではありません。市、郡の発展と市、郡建設のためのセメント保障に関する法、教育綱領執行と便宜保障に関する法、幼児の栄養食品および養育条件保障に関する法、除隊軍人の生活保障に関する法、非常防疫に関する法、遠隔教育に関する法などが新しく採択されました。そして女性の権利保障に関する法と育児保育教養に関する法、社

会主義労働と報酬、休息に関する法と高齢者保護に関する法など、多くの部門法が修正・補足されました。



ユン・ヨンナム：　先日におこなわれた最高人民会議第 14 期第 7 回総会では農村振興を強力に促し、農民により良い労働条件、生活条件と環境を提供するための法と人民により文化的で美しい生活環境を保障するための法が採択されました。

リョム・ジョンシル：　去る 10 余年間、新しい部門法が制定され、既存の法も修正・補足されましたが、それらの法には人民の権利と利益を徹底的に擁護、保障し、党と国家の人民的な政治の実現を頼もしく保証するための方途が明示されているのではありませんか？

キム・チャンギョン：　そうです。　4 章 61 条からなっている幼児の栄養食品と養育条件保障に関する法では国家と社会協同団体が各種の幼児用品を生産計画に組み入れてもっともすばらしくつくり、幼児用品にたいしてはコストを補償する程度あるいはそれより値段を下げ、その差額は国家または地方予算で負担すると規定しています。そして子供向けの食品生産と供給規定、子供の養育条件保障と幼児用物資輸送保障のための機関と単位について、この法にたいする指導統制の内容と統制機関も正確に規定しています。

リ・ジョンファ：　7 章 55 条からなっている女性の権利保障に関する法でも女性に男性と同等の社会的および家庭的権利を保障するということ、国家的に女性勤労者に定期および補充休暇の他に勤続年限に関わりなく 240 日産前産後の休暇を与えるということを規定しています。
そして女性勤労者に禁止された労働分野について、3 名以上の子供をもった女性勤労者に特恵を施すことについて、女性の権利保障のための国家機関と団体の任務と監督統制機関などについても具体的に明白に規定しています。



ユン・ヨンナム：　5 章 34 条からなっている市、郡建設用セメント保障に関する法でも市、郡建設セメント保障計画と生産条件の保障から供給と輸送費用、市、郡建設セメント保障にたいする指導統制に至るまで具体的に規定しています。

リョム・ジョンシル：　わが共和国の法典に人民大衆第一主義が具現されたということは、社会主義の経済、文化発展の計画を作成し、それを法に採択するところでも現れています。

キム・チャンギョン：そうです。朝鮮では経済発展の主客観的条件、各時期の革命発展の要求などを科学的に分析した上で、人民経済発展計画と技術発展計画をはじめ、社会主義の経済と文化を発展させるための具体的な計画を作成し、それを法に採択します。それらの法は経済と文化発展のための方途を明示し、確固たる展望を開いてくれる法条項からなっていて、計画の遂行を保証し、人民に日増しに向上した物質的、文化的生活条件を保障しています。

リョム・ジョンシル：　実に人民大衆第一主義が具現された新しい法が採択されたことにより、われわれの社会主義法はより人民のための法として発展完成されています。

わが共和国法の人民的性格は他国では真似ることも、模倣することもできないものです。

朝鮮労働党の人民大衆第一主義政治の下でのみこのように人民の要求と利益を徹底的に反映し、その実現を確固と保証する人民の法典が生まれることができるのではありませんか？

リ・ジョンファ：　その通りです。金がすべてを決定する資本主義社会では金はすなわち権勢であり、独占権、支配権であり、無制限の自由権です。しかしわが国では人民大衆第一主義政治が具現された共和国法に

よってすべての人に民主主義的自由と権利を法的に十分に保証し、徹底的に保障しています。

ユン・ヨンナム：　党の人民大衆第一主義政治を法的に確固と保証する法をもっていることはわが共和国公民の限りない栄誉であり、幸福です。

それゆえ、わが人民は自分たちをこの世でもっとも大事な存在としてみなし、人民のために滅私奉仕することを明記したわれわれの共和国法を尊重し、それを実行するために積極的に努力しています。

リョム・ジョンシル：　ありがとうございました。みなさんのご健康と今後の活動で成果があることを心からお祈りします。

チュチェ思想研究組織の活動ニュース

チュチェ思想研究討論会が日本でおこなわれる

偉大な金日成主席の生誕 111 周年とチュチェ思想国際研究所の創立 45 周年に際して、日本金日成・金正日主義研究全国連絡会とチュチェ思想国際研究所の共催で 2023 年 4 月 15 日、東京でチュチェ思想研究討論会が行われた。

討論会には日本のチュチェ思想研究組織、日朝友好団体の人士、総聯中央常任委員会と総聯の朝鮮大学校の幹部たち、チュチェ思想国際研究所の事務局長とヨーロッパ地域のチュチェ思想研究会、ラテンアメリカのチュチェ思想研究所の書記長、アジア地域チュチェ思想研究所の理事などが参加した。

チュチェ思想研究所の理事長が画像方式でここに参加した。

朝鮮社会科学者協会、そしてヨーロッパ地域のチュチェ思想研究会の理事長と副理事長、アジア地域チュチェ思想研究所の理事長、アフリカ地域チュチェ思想研究会の書記長をはじめとした各人士が討論会に祝電を送ってきた。

討論会ではチュチェ思想国際研究所事務局長尾上健一が司会をし、日本金日成・金正日主義研究全国連絡会の代表取締役の家正治、総聯中央常任委員会第一副議長兼組織局長であるパク・グホが演説した。総聯中央常任委員会第一副議長兼組織局長であるパク・グホは、去る数十年間、世界は想像を絶する激動の渦巻きの中に巻き込まれ、人類は東欧諸国での社会主義の崩壊のような類を見ない紆余曲折を経たが、チュチェの社会主義偉業、反帝自主偉業は決して挫折することなく堂々と前進してきたと言った。

朝鮮人民は一つに固く団結して豊かで文化的な人民大衆中心の理

想郷を建設するために邁進している、全世界の自主化はすでに逆戻りさせることができない時代の趨勢となっている、チュチェ思想国際研究所の役割はもっと重要になった、と強調した。

討論会では講演があった。

チュチェ思想国際研究所の理事長であるラモン・ヒメネス・ロペスは金日成主席を抜きにしてはチュチェ思想研究所の創立について語ることができないとし、主席が研究所の創立に関して貴重な助言をしていることについて言及した。

続けて彼は、チュチェ思想研究普及活動は、反社会主義宣伝と朝鮮に対する絶え間ない脅威、世界的な大政治動乱の中でも絶えず行われてきた、行事のすべての参加者が金日成・金正日主義を広く研究普及して世界の自主化を実現するための闘争に貢献することを望むと言った。

ヨーロッパ地域のチュチェ思想研究会の書記長であるマテオ・カルボネリ、ラテンアメリカ・チュチェ思想研究所の書記長であるエレアサル・アルダランは主席の貴い偉人的風貌と積み上げた業績をほめたたえ、チュチェ思想が明らかにした自主性の原則とラテンアメリカ地域におけるチュチェ思想研究普及について紹介した。

チュチェ思想国際研究所の理事である鎌倉孝夫は帝国主義の野蛮さと横暴さ、侵略と略奪の本性を明らかにし、共和国が保持した強力な軍事的威力をたたえながら帝国主義に反対する勢力との連帯強化、自主の確立こそ平和であると主張した。

総聯の朝鮮大学校の学長であるハン・ドンソンは敬愛する金正恩総書記が2012年12月1日、創立60周年を迎える社会科学院の科学者と幹部たちに送った歴史的書簡「われわれの社会科学は全社会の金日成・金正日主義化偉業の遂行に積極的に貢献しなければならない」の基本内容を解説した。

彼は、不世出の偉人の不朽の著作を指針にして、チュチェ思想研究をさらに深化させ、全世界のチュチェ思想研究者との交流を積極化

して自主化偉業の実現に貢献する意志を披瀝した。

討論会では金正恩総書記に送る手紙が採択された。

手紙は金日成主席が創始したチュチェ思想は、金正日総書記によって全一的に体系化されて自主時代の指導思想に発展豊富化され、金正恩総書記によって金日成･金正日主義に正式化されたと書いている。

手紙は金正恩総書記が共和国の尊厳と威容を全世界に轟かしていることについてほめたたえ、金正恩総書記が導く朝鮮の姿は世界の人民が志向する自主、社会主義への里程標になっていると指摘した。

チュチェ思想国際研究所の誇り高い歴史を顧みながら金日成主席に対する敬慕の念を抑えられず、主席の明晰な洞察力と先見の明に感嘆を禁じえない、主席に心からなる敬意を表する、と手紙は書いている。

手紙は金日成主席の励ましを肝に銘じ、金正恩総書記を見習いながら朝鮮人民と世界人民と一緒に金日成・金正日主義の旗印を高く掲げて自主化された新しい世界の建設のためにあくまで闘うだろうと強調した。

チュチェ思想国際研究所創立 45 周年に際して
チュチェ思想に関する討論会がおこなわれる

ネパール全国連合討論会がおこなわれる

偉大な金日成主席の生誕 111 周年、チュチェ思想国際研究所創立 45 周年に際して 2023 年 4 月 5 日、チュチェ思想に関するネパール全国連合討論会がおこなわれた。

会場の正面には金日成主席の頬笑む太陽象の肖像画が丁重に掲げられていた。

また、「偉大な金日成主席生誕 111 周年とチュチェ思想国際研究所創立 45 周年に際したネパール全国連合討論会」という文字が、左右には「偉大なチュチェ思想万歳！」「ネパール朝鮮友好万歳！」という文字が張り出されていた。

行事場には金日成主席と金正日総書記、金正恩総書記の革命活動に関する写真が丁重にかけられており、朝鮮労働党第 8 回大会の決定貫徹で朝鮮人民が収めた驚異的な成果、朝鮮の子供たちと人民の幸せな姿、太陽節を意義深く慶祝する朝鮮人民、強大無比の軍事力を保有した朝鮮人民軍の閲兵式と主要軍事活動、各チュチェ思想研究組織の研究普及活動を見せる写真が展示されていた。

また、金日成主席と金正日総書記、金正恩総書記の不朽の古典的著作と偉大さに関する図書、ネパールの研究組織が出版、発行した偉人称賛の図書、金日成主席と金正日総書記、金正恩総書記の不朽の古典的著作と偉大さに関する記事が掲載されたネパールの新聞と雑誌が展示されていた。

行事場にはまた、ネパール朝鮮の自主政治研究センターとネパール自力更生研究会が出品した朝鮮の美術および手工芸作品 20 余点が展示されていた。

行事場では自主で輝く朝鮮の発展ぶりを見せるビデオ編集物が上映された。

行事にはネパールの政党、大衆団体の人士とチュチェ思想研究組織、朝鮮人民との友好および連帯団体のメンバーが参加した。

討論会ではアジア地域チュチェ思想研究所理事長からの祝電が朗読され、発言と討論があった。

元ネパール国会代表議会（下院）議長は次のように言った。

金日成主席の生涯は帝国主義に反対する闘争と人民が主人となった社会主義社会の建設、人民の幸福のための道にささげられた貴い一生である。

主席は全世界の共産主義者と進歩的人類が見習うべき偉大な思想であるチュチェ思想を創始し、朝鮮革命の全行程に具現しました。

朝鮮は自力を信じ、それに依拠して発展する自力更生の国、チュチェの国である。

彼は朝鮮を訪問し、政治における自主、経済における自立、国防における自衛を実現していく誇らしい現実を自分の目の当たりにしたことについて披瀝し、ネパール人民もチュチェ思想と朝鮮人民の闘争気風に多くのことを学ぶべきであると強調した。

ネパール共産党（マルクス・レーニン主義）中央委員会の総書記は、チュチェ思想にもとづいた自主的な闘争路線を示し、朝鮮革命を勝利へと導き、世界の自主化偉業の遂行に大きな功績を積み上げた主席を人類の永遠な太陽としてほめたたえた。

彼は偉大な金正日総書記が領袖の革命思想を金日成主席に定式化し、その旗印の下に革命と建設を指導して来られ、朝鮮半島と世界の平和の保障に大きく寄与したことについて言及した。

また今日のような不安定な情勢下で金正恩総書記は金日成・金正日主義の旗を高く掲げて朝鮮を繁栄する強国に輝かせていると激賞した。

ネパール・チュチェ研究所所長はこの世のどの名人も比肩できない主席の一生の大きな業績をたたえ、このように続けた。

金正恩総書記は人民の幸福のためにすべてをささげている。

毎年、国家的投資で近代的な住宅を建設して人民に無料で提供するようにし、重要な党会議で育児政策と関連した問題を討議し、全国の生徒・学生たちに新しい制服も供給するようにした。

帝国主義侵略勢力があえて手出しできないように強力な国防力をもたらして社会主義朝鮮をしっかり守るようにした。

ネパール自力更生研究会の委員長は、チュチェ思想国際研究所と各地域のチュチェ思想研究所の組織の構成と活動状況を概括通報し、ネパールでチュチェ思想研究活動をより積極的にくり広げることについて強調した。

ネパール朝鮮の自主政治研究センター委員長、先軍政治研究ネパール文学フォーラム委員長、先軍政治支持協会委員長をはじめとした各人士はチュチェ思想の特徴と指導的原則、人間中心の哲学であり、もっとも徹底した人民哲学であるチュチェ哲学の本質的内容などについて討論した。

討論会では金正恩総書記に送る祝電が採択された。

インド全国討論会

偉大な金日成主席の生誕 111 周年、チュチェ思想国際研究所創立 45 周年に際して「武装衝突、自力更生、世界平和」という題のインド全国討論会が 2023 年 4 月 8 日、ニューデリーでおこなわれた。

アジア地域チュチェ思想研究所とインド人民党、金日成・金正日主義研究会、知識人チュチェ思想研究会、チュチェ哲学研究委員会、デリー総合大学をはじめとした政党、団体、機関の人士がここに参加した。

討論会ではアジア地域チュチェ思想研究所理事長の基調報告に続いて討論があった。

報告者と討論者は金日成主席の誕生日は朝鮮人民だけでなく、世界の進歩的人民が人類共同の祝日として意義深く慶祝する太陽節であるとし、傑出した思想理論家、偉大な革命家、不世出の政治元老、創造と建設の英

才、人民の慈父である金日成主席の聖なる革命生涯と不滅の業績をほめたたえた。

彼らは生涯をひたすら祖国と人民のために、人類の自主偉業の実現のためにささげた金日成主席の輝かしい生涯と業績は進歩的人民の心の中に永遠に刻み付けられるだろうと強調した。

彼らは金日成主席が創始し、金正日総書記が発展豊富化したチュチェ思想は金正恩総書記の指導の下にその生命力がより明白に実証されている、チュチェ思想の旗を高く掲げて進む朝鮮は世界的な軍事強国の気概を全世界に誇示している、とほめたたえた。

また、チュチェ思想の真髄は自立であり、自立は自力更生によって実現される、自力更生しない自立は単なる理論に過ぎない、すべての分野で自力更生の原則を徹底的に確立していく朝鮮の姿は、多くの国々をして自主の道に進むように鼓舞してくれる、地球上のすべての国がチュチェ思想が指し示す道に沿って自立を実現するならば、世界の平和も実現されるだろうと確信する、と言った。

帝国主義者の侵略と戦争策動によって国際政治情勢はさらに不安になりつつあるとし、彼らは世界の平和と安定の破壊者、緊張激化の張本人であるアメリカの正体を暴露、断罪した。

ひたすら軍事的優勢のみがアメリカの侵略的企図を阻止、破綻させ、世界の平和を守ることができる、他国の内政に干渉しようとするアメリカに反対して積極的に闘わなければならない、と彼らは主張した。

彼らは金正恩総書記がおられるがゆえに、アメリカをはじめとした帝国主義者のいかなる策動も朝鮮を手出しできないだろうし、朝鮮人民は常に勝利するだろう、正義と平和を愛する世界の進歩的人類は朝鮮人民の偉業に変わりのない支持と連帯を表するだろうと確言した。

討論会では金正恩総書記に送る手紙が採択された。

民主コンゴでチュチェ思想研究グループが結成される

偉大な金日成主席の生誕111周年に際して2023年4月5日、チュチェ思想研究民主コンゴ全国委員会はキンシャサで「チュチェ思想研究ゴンベ区域グループ」結成集会を開いた。

集会にはチュチェ思想研究民主コンゴ全国委員会の委員長、副総書記をはじめとした全国委員会のメンバーと研究グループの責任者30余名が参加した。

集会では副総書記が研究グループのメンバーを紹介してコーディネーター、副コーディネーターを選挙し、チュチェ思想国際研究所を中心にして各大陸に組織されているチュチェ思想研究組織のシステムと全国委員会の構成を概括的に紹介した。

集いでは選挙された新しい研究グループの責任者、副責任者、書記が不滅のチュチェ思想を深く研究普及し、それを現実に具現するための活動に積極的に参加するという決意を固め、全国委員会顧問、委員長の祝賀発言があった。

発言者たちは意義深い太陽節に際してチュチェ思想研究グループを結成するようになったことを嬉しく思うとし、結成集会の参加者を熱烈に祝賀し、研究グループを結成する目的と意義、その活動方向を概括的に言及した。

続けて、チュチェ思想を研究することは、それ自体に目的があるのではなく、チュチェ思想の真髄を正しく把握し、民主コンゴの民族性を徹底的に固守しながらも、現実に符合する社会を建設する行動方向を模索し、広範な大衆を意識化するところにあると強調した。そして彼らは民主コンゴの未来であり、主人である青年たちがどのように準備され

るかによって国の興亡と盛衰が決定され、自主的人間に生きるか、奴隷になるかという運命の瀬戸際で正しい選択は、ひたすらチュチュ思想にのみ見出すことができる、みんなが同志的に固く団結してチュチェ思想を現実に具現するために積極的に努力していこうとアピールした。

実　話

毎日訪ねてきた青年

イギリス駐在朝鮮大使館で「朝鮮民主主義人民共和国美術展示会」が開幕されたとき、多くのイギリス人と各国の外国人まで絶え間なく訪ねてきた。

彼らの中には開幕の初日から毎日訪ねてくる青年がいた。

彼の名はジャック・ワレンであった。彼は同僚たちを連れて翌日にも、その次の日にも展示会場に姿を現した。

同僚たちにいう彼の声は格別に高かった。

「朝鮮の美術家はイギリスの現実も生々しく書いたよ」

彼のいう通りに展示会場には朝鮮の美術家が平壌で創作した作品だけでなく、ロンドンに滞在しながら直接創作した「トラパルガ広場」と「テームズ川辺の風景」、「ロンドン塔のケシの海」なども展示されていたのである。

多くの人々が群れをなして行き来するその中で一度でもなく、二度、三度も毎日訪ねてきて展示された作品を注意深く見ている彼の姿に主催者側の一部の人は彼を美術家であろうと予測したりした。多分、作品にたいする愛着があまりにも大きくて毎日訪ねてくるのだろうと。

人々は「ハフィントン・ポスト」に掲載された記事「朝鮮にたいする映画を作りたい」を読んでみてからその青年の気持ちが分かった。ジャック・ワレンが書いた記事は次のようである。

「1990 年代に生まれたわれわれの世代は父の代とは違って世界を東西に区分して見ようとしない。

東西間に文化と伝統、社会と歴史の差が存在しているが、冷戦時代が崩壊した今日『われら』あるいは『お前ら』という概念がこれ以上存在す

る必要があるのか。

しかし今日、西側をはじめ、世界は朝鮮にたいする誤った偏見にとらわれている。1948 年に創建された朝鮮民主主義人民共和国が創建当日から数十年が経った今日までも世人の目に神秘な国として残っているのは不思議なことである。

元イギリス首相ウィンストン・チャーチルは一時、ソ連を霧の中に隠されたなぞの国であると表現した。チャーチルがまだ生きていたならば、朝鮮をどのように表現しただろうか…

わたしは 3 日の夜、朝鮮美術展示会の開幕式に参加し、朝鮮の美術家もわれわれと同じ人間であるということと、彼らが創作したさまざまな美術作品を通じて朝鮮にもイギリスのような正常的な生活が行われているということを知るようになった。

今まで西側の映画制作業者がつくった朝鮮にたいするドキュメンタリー映画は朝鮮を誹謗することだけに傾注してきた。わたしは世界的に政治的論争の種が一番多い朝鮮にたいして新しい見解をもち、朝鮮の平凡な人々にたいするドキュメンタリー映画を一度立派に作ってみるつもりである。

24 歳のイギリス青年としてわたしは同年の朝鮮青年が活発にくり広げるスポーツ活動を映画の本筋にするつもりである。

朝鮮青年にもイギリス青年のような生活上の共通点が必ずあるだろう。朝鮮美術展示会に展示された作品を見ると、朝鮮にも情緒的な生活があると確信する。これからわたしが作る映画にたいする評価はイギリスの観衆に任せる」

結局、彼は美術家ではなかった。イギリス「フィルタービユー」プロダクションの演出家である彼は朝鮮を訪問したことはないが、朝鮮の美術家の清新な作品を見ると、心から湧いてくる映画的インスピレーションを抑えることができず、毎日展示場に駆けてきたのである。

多分彼は立派な映画を作るだろう。

値段を定められない酒

カトマンズのサキヤの家はいつもお客で賑やかであった。

今日もある友人が遊びに来た。

「こら君、おめえはおれとどんな仲なのかい？」

「どんな仲って、一番親しい間柄だよ」

「ところが、一つ残念に思うところがあるよ」

「なんでまたそんなことを言うんだい？わしらはもう頭に霜をいただいていてもいつ一度も戦ったことがあるのかね、どうしていまさらそんなことを」

こういう人はこの家の主人であるネパール「アルパン」新聞社責任主筆であり、ネパール記者協会委員長であるネパール・チュチェ思想および先軍政治研究ネパール記者協会の委員長マンジュ・ラトナ・サキヤである。

彼と向かい合っている老人は長いつき合いなので実に互いに秘密がなく、一杯の酒も一緒に飲み合う気性の持ち主であった。

ところが、その彼が今日はどうしたわけなのか、しきりに難癖をつけている。

サキヤはあっけにとらわれてしまった。

「おめえやたらと誇っているものあるだろう、それを今お売れよ」

やたらと誇っているのって？

そのときはじめてサキヤは悟って目を向けた。

彼の視野に「チュチェの部屋」にあるガラス張りの棚の中の人参酒 2 本が入った。「チュチェの部屋」とはサキヤが朝鮮から購入してきたチュチェ思想に関する書籍と自分が一生涯記者生活をしながら朝鮮について、朝鮮の領袖とチュチェ思想について書いた記事が載せられた新聞を保管する蔵書があり、朝鮮の国旗を掛けた部屋である。

その新聞の中には 1979 年 7 月 6 日付「アルパン」紙もある。そこには

同年 6 月 19 日、金日成主席がネパール記者代表団を接見し、彼らと一緒に撮った記念写真と接見席上でサキヤの質問に答えた回答が掲載されている。

同日、金日成主席は国の東北部のある地方都市でサキヤを団長とするネパール記者代表団を接見してくださった。

同日、金日成主席は次のように述べている。

「国ごとに政治的理念と信教が異なり、社会体制の差異がありますが、自民族と自国を富強にし、自国の人民により豊かな暮らしをさせる新社会を建設するためには、ただ自分の方式で、自国の人民が要求するとおりおこなわなくてはならないという精神をもっています。

一言でいって、世界の人民がいかなる支配や従属にも反対し、民族の独立と自主、自立、自衛を志向するのが現代の基本的すう勢となっています」

その日の主席の太陽のような姿が思い浮かぶ瞬間、サキヤはソファーの背もたれから上半身をやや起こしながら友人のつるつるした額を指で指しながらいった。

「だめ」

ガラス張りの棚の中に大事に保管されているその人参酒は数十年前のその日に金日成主席から贈られた贈り物であった。

その人参酒を今日までそのまま保管して訪ねてくる人々に誇ってきたサキヤである。

サキヤは金日成主席からもらったその人参酒が自分の存在を人々が驚嘆の目で見上げるようにしてくれる、千万金の価値をもった宝だと考えていた。

不思議なほど両腕、両脚をもった人模様の根なのでもっと珍奇に見える朝鮮人参が透明なガラス瓶の黄ばんだ液体の中で訪問客に生唾を飲み込ませていたが、サキヤは自分も飲まず、他人にも勧めないでただ自慢ばかりしてきた。

それではわれ知らずに歓喜で両眼が輝く。

「金正恩総書記が『サキヤ先生、あの人参酒、今はもう飲みなさい』とおっしゃれば、そのとき、おれがおごるよ」

彼の最後の言葉はいつもこのように終わった。

この言葉の中に彼の願いがあるのではないか。

金日成主席と金正日総書記にしたがってチュチェの道一筋を歩んできた自分の一生を金正恩総書記の前で総括してもらいたいという…

彼は友人に言った。

「お前、この酒を売れとさっき言っただろう？そう、この酒の値を定められるのかね」

「?！」



